次期北広島市教育振興基本計画(2021～2030)策定に係るアンケート結果報告書【概要版】

1. 調査の概要

1. 調査の目的

〇次期教育振興基本計画（2021～2030）策定に向け、アンケートを通じて市民のニーズ等を的確に把握し、計画に反映させることをもって、市の教育の充実・振興を図ることを目的として実施しました。

2. 調査の実施期間

【配布期間】：平成 30 年 12 月 5 日（水）～ 12 月 7 日（金）

【回答期間】：平成 30 年 12 月 10 日（月）～ 12 月 14 日（金）

3. 調査の対象と回答率

〇アンケート調査は、成人及び児童生徒を対象としました（表１）。

〇児童生徒及びその保護者については、計画初年度の 2021 年４月に、小学校１年生、中学校１年生、高等学校１年生（相当の年齢）となる学年を抽出し、現在、市内の保育園・幼稚園・認定こども園に通う年少児、小学校４年生及び中学校１年生の児童生徒及び保護者を対象としました。

表１　アンケート区分別回答率

区分	区　分　名　称	対象数	回答数	回答率
A	教育委員会附属機関等の委員	１７５	１２０	６８.６%
B	市内教育関係機関等	５７	４５	７８.９%
C	社会教育関係団体等	２７７	１８３	６６.１%
D	保護者合計	１,３８３	９８０	７０.９%
	１　市内の保育園・幼稚園・認定こども園に通う年少児（相当）の保護者	３９８	２４３	６１.１%
	２　市立小学校４年生の保護者	４８０	３２４	６７.６%
	３　市立中学校１年生の保護者	５０５	４１３	８１.８%
E	児童・生徒合計	９８５	７３７	７４.８%
	１　市立小学校４年生の児童	４８０	３２４	６７.６%
	２　市立中学校１年生の生徒	５０５	４１３	８１.８%
合　　計		**２,８７７**	**２,０６５**	**７１.８%**

※回答率については、小数点以下第２位を四捨五入。

2. 調査の結果Ⅰ（成人対象）

設問１．２０３０年以降の社会について

〇多くの方が「地域共生社会」、「持続可能な社会」、「共生社会」を実現すべきと考えていることが分かりました。

図１　到来すると考える社会（全体）

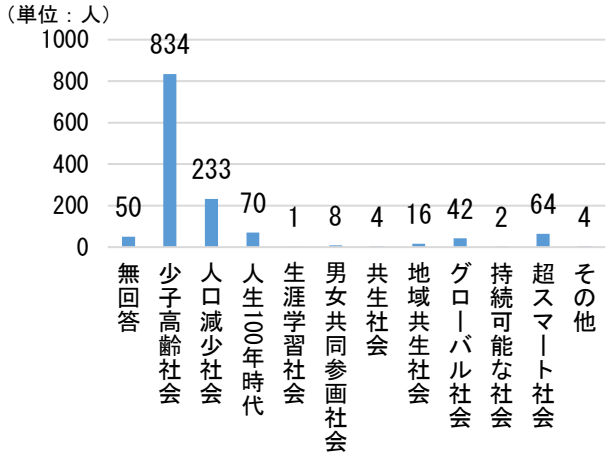
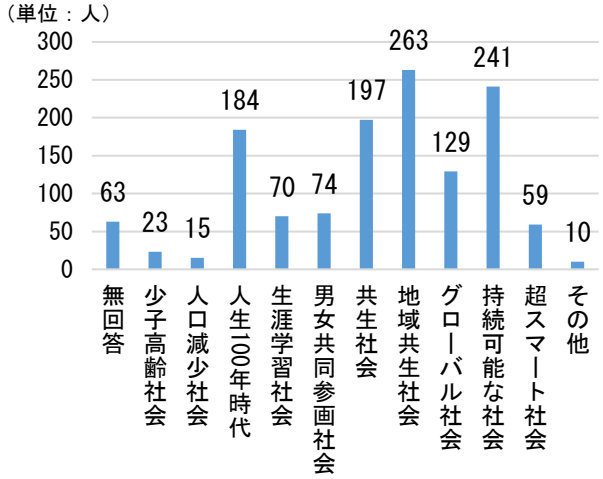


図２　実現すべきと考える社会（全体）



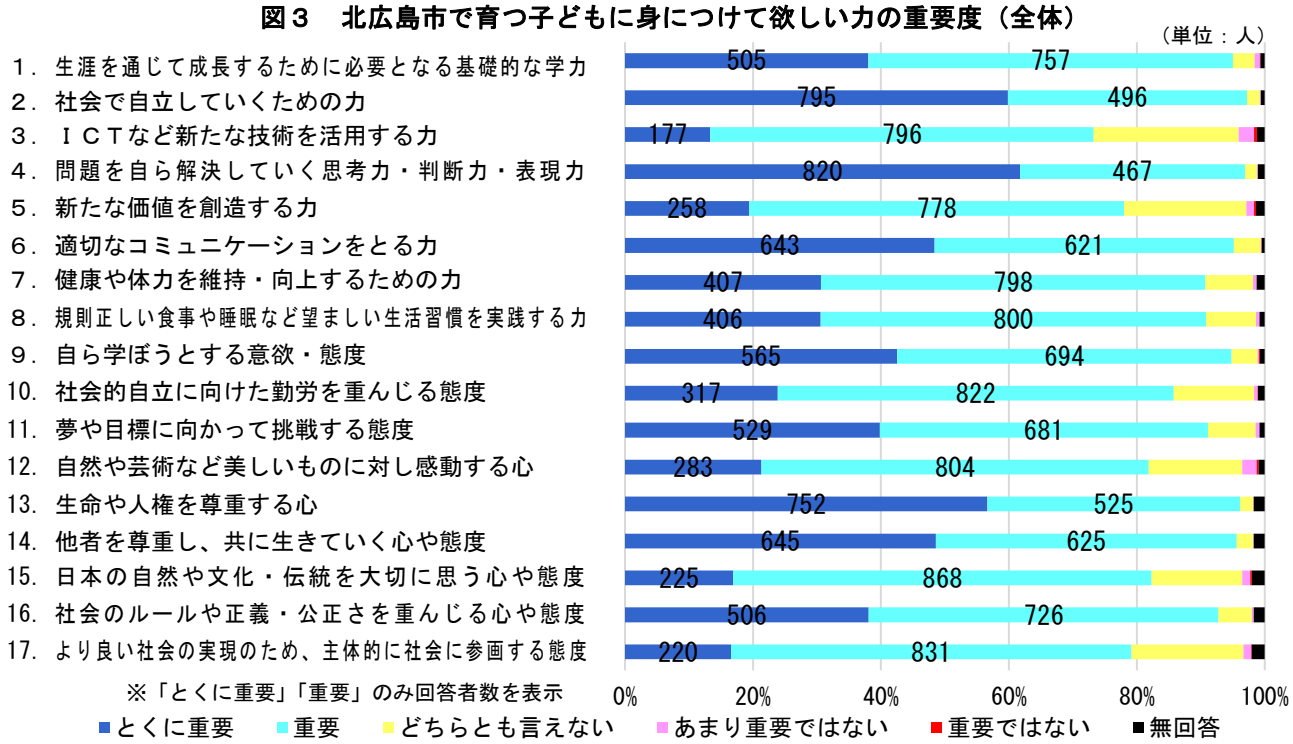
設問２及び設問３．北広島市で育つ子どもに身につけて欲しい力について

〇調査の結果、全問を通して肯定的な意見（「とくに重要」、「重要」の合計）が 70%超となっています。

〇問１、２、４、６～９、11、13、14 については、肯定的な意見が 90%超となっています。

〇設問３の自由記述式では、221 件の意見があり、「思いやり・他者尊重」に関する意見（29 件。他の分類と重複する意見を含む。以下同じ。）、「協調性・コミュニケーション」に関する意見（28 件）、「自己決定・判断力」に関する意見（27 件）などがありました。

図３　北広島市で育つ子どもに身につけて欲しい力の重要度（全体）



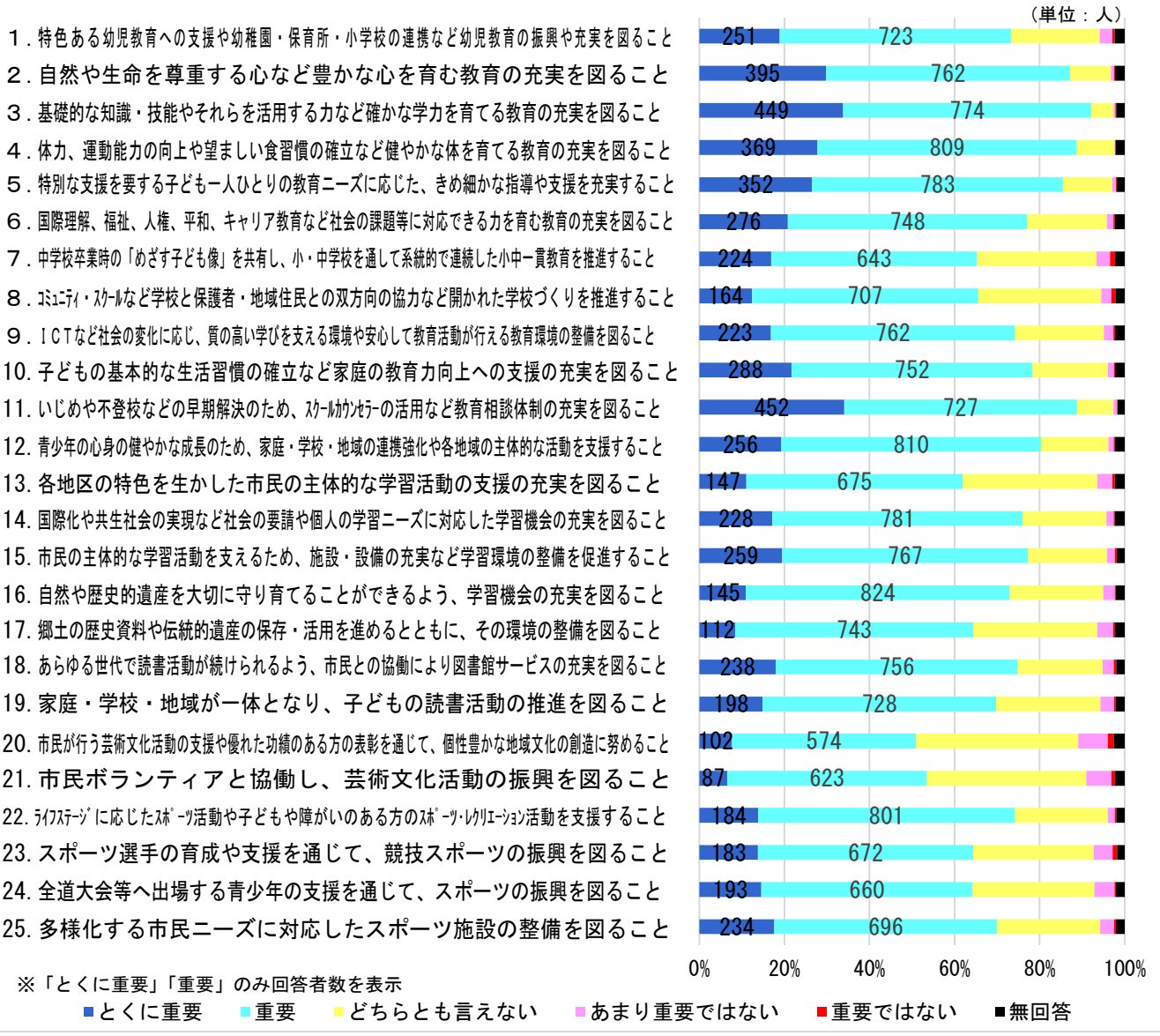
設問４．北広島市教育目標について

〇自由記述式で実施し、160 件の回答がありました。概ね肯定的ではあるものの、「分かりにくい」とする意見（28 件）、「表現を見直すべき」という意見（21 件）がありました。
〇とくに、目標３「文化を高め生活の合理化を目指す人」、目標５「勤労を尊び生産を高める人」については、「現代に合った文言に見直すべき」との意見がありました。

設問５及び設問６．北広島市が取り組むべき教育施策の重要度について

〇調査の結果、肯定的な意見（「とくに重要」「重要」）はすべての問において 50%超となっており、90%超となるものは問３、80%超となるものは問２、４、５、11、12、70%超となるものは問１、６、９、10，14、15、16、18、22、25、70%未満となるものは問７、８、13、17、19、20、21、23、24 と施策内容により重要度に差があることがわかりました。
〇設問６の自由記述式では 178 件の意見があり、その内容は教育行政に限らず幅広い視点からの回答となっています。もっとも多く意見が寄せられたのは、学校教育に関する分野についてであり、教育の内容に関すること 35 件（他の分類と重複する意見を含む。以下同じ。）、教育環境に関すること 31 件、学校施設に関すること 5 件の計 71 件の意見がありました。また、少子化の現状を踏まえ、学校の統廃合や部活動の合同実施など学校規模の縮小化問題への対応についての意見もありました。

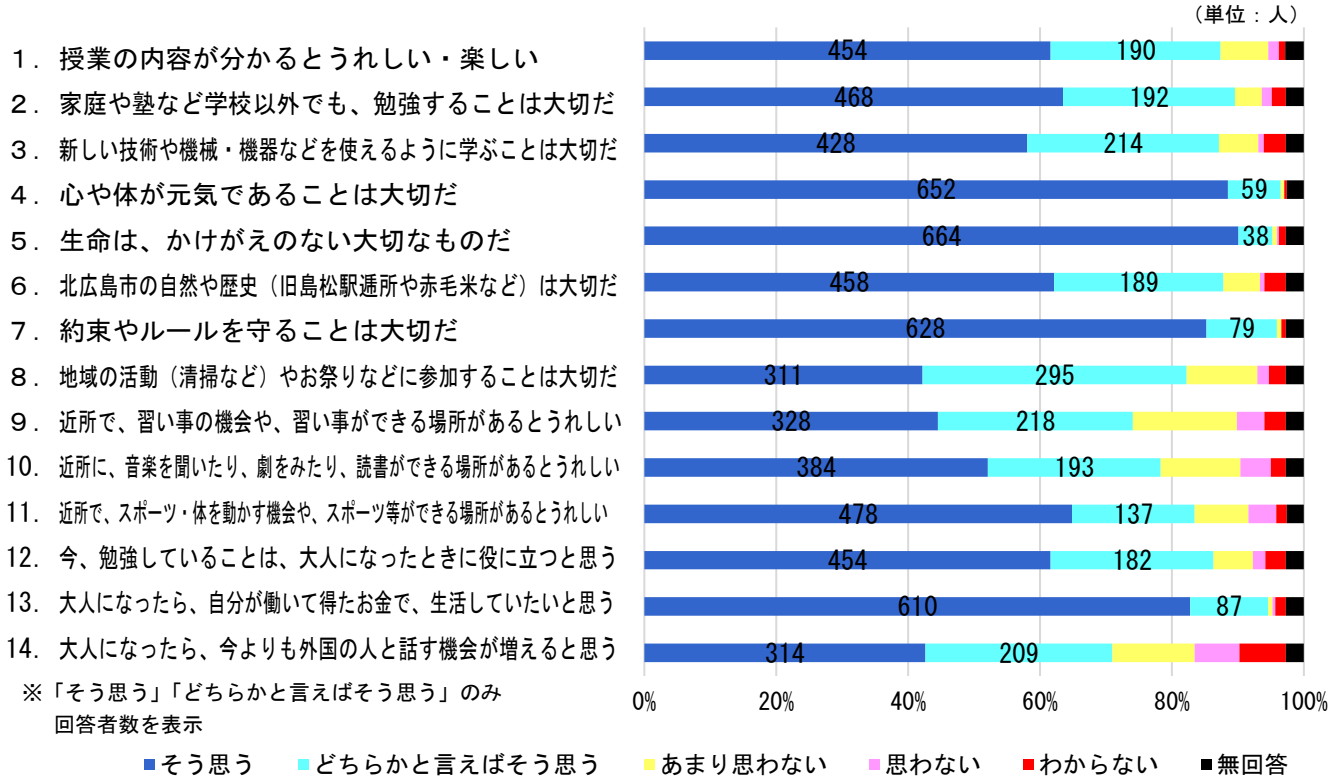
図４　北広島市が取り組むべき教育施策の重要度（全体）



3. 調査の結果Ⅱ（児童生徒対象）

○調査の結果、肯定的な意見（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」）は、すべての問において 70%超となっており、90%超となるものは問４、５、７、13、85%超となるものは問１、２、３、６、12なっています。

図５　教育に関する考え（全体）



※「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」のみ回答者数を表示

4. 調査結果の分析

○児童生徒アンケートと成人アンケートの問２及び問５のうち類似の設問について間接的に比較を行いました。

■生涯を通じて成長するために必要となる基礎的な学力

○成人アンケート問２－１「生涯を通じて成長するために必要となる基礎的な学力」と児童生徒アンケート問12「今、勉強していることは、大人になったときに役に立つと思う」を比較しました。

表２

	肯定的な意見		
	とくに重要／そう思う	重要／どちらかと言えばそう思う	合計
成人（全体）	38.0%	57.0%	95.0%
小学校４年生	75.9%	15.7%	91.7%
中学校１年生	50.4%	31.7%	82.1%

※「とくに重要」「重要」は成人アンケートの選択肢を「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」は児童生徒アンケートの選択肢。

○このほか、「社会的自立してくためのの力や自立に向けた勤労を重んじる態度」、「ＩＣＴなど新しい技術を活用する力」、「問題を自ら解決していく思考力・判断力・表現力」、「健康や体力を維持・向上するための力」、「自ら学ぼうとする意欲・態度」、「生命や人権を尊重する心」、「日本の自然や文化・伝統を大切に思う心や態度」、「社会のルールや正義・公正さを重んじる心や態度」、「より良い社会の実現のため、主体的に社会に参画する態度」、「生涯学習活動の支援や施設等に関すること」、「芸術文化、読書活動サービスの提供に関すること」、「スポーツ等の支援や施設等に関すること」についても比較を行っています。